

令和5年1月17日

令和5年1月 記者懇談会 冒頭挨拶

皆さんこんにちは。

記者の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、また、とても寒いなか、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の本部からの発表事項は、お手元の資料にあるとおり、

- 1月18日は「118番の日」と称して、海上保安庁への海上における事件や事故に関する緊急通報用電話番号の紹介について
- 続いて、「船舶海難・人身事故ともに減少」と称して、令和4年の船舶海難・人身事故の発生状況についての2点となっております。

1点目の、海上保安庁への緊急通報用電話番号である118番についてですが、海上における事件や事故に巻き込まれたり、遭遇したり、あるいは見たり聞いたりした場合には、いわゆる110番や119番と同じように、118番をダイヤルすることで、海上保安庁に繋がるものです。

最近では、迅速な救助活動につなげるべく、通報者の携帯電話の位置情報を ON とすることで、海上保安庁は通報者の位置を確認できるようになり、あるいは、聴覚や発話に障害のある方に対してインターネットを使用した通報サービス、「NET118」を導入しています。

118番は平成12年から運用され、今年で23年目になります。

先月、図画コンクールの表彰式で福岡市内の小学校を訪問した際に、3年生のークラス、約30名程度の生徒さんに、118番のことを尋ねたところ、およそ3割の生徒が知っていました。

当初はほとんど知らないだろうと尋ねたわけですが、予想に反した認知度であり、とても驚きました。

3割の評価は別にして、引き続き、118番の普及に努めていく所存です。

2点目の、令和4年の船舶海難・人身事故の発生状況についてですが、船舶海難、人身事故ともに前年の令和3年に比して1割以上減少させることができました。

詳細な分析は、後ほど交通部長から説明がありますが、引き続き「海難0」を目指してまいります。

以上が本日の発表となります。

さて、新年を迎え、皆さまにあってはどのようなお正月を過ごされたのでしょうか。

海上安全を祈願すべく神社へ出かけたところ、多くの参拝者を見かけ、コロナ前に戻りつつあることを実感しました。

しかしながら、足元では連日感染者が福岡県で一万人を記録するなど、ウィズコロナの難しさを実感した次第です。

基本的感染防止対策を徹底して、地域の安全安心ため、職員一丸となって本年も海上保安業務を展開する所存ですので、引き続き、よろしく願いいたします。

私からは以上となります。